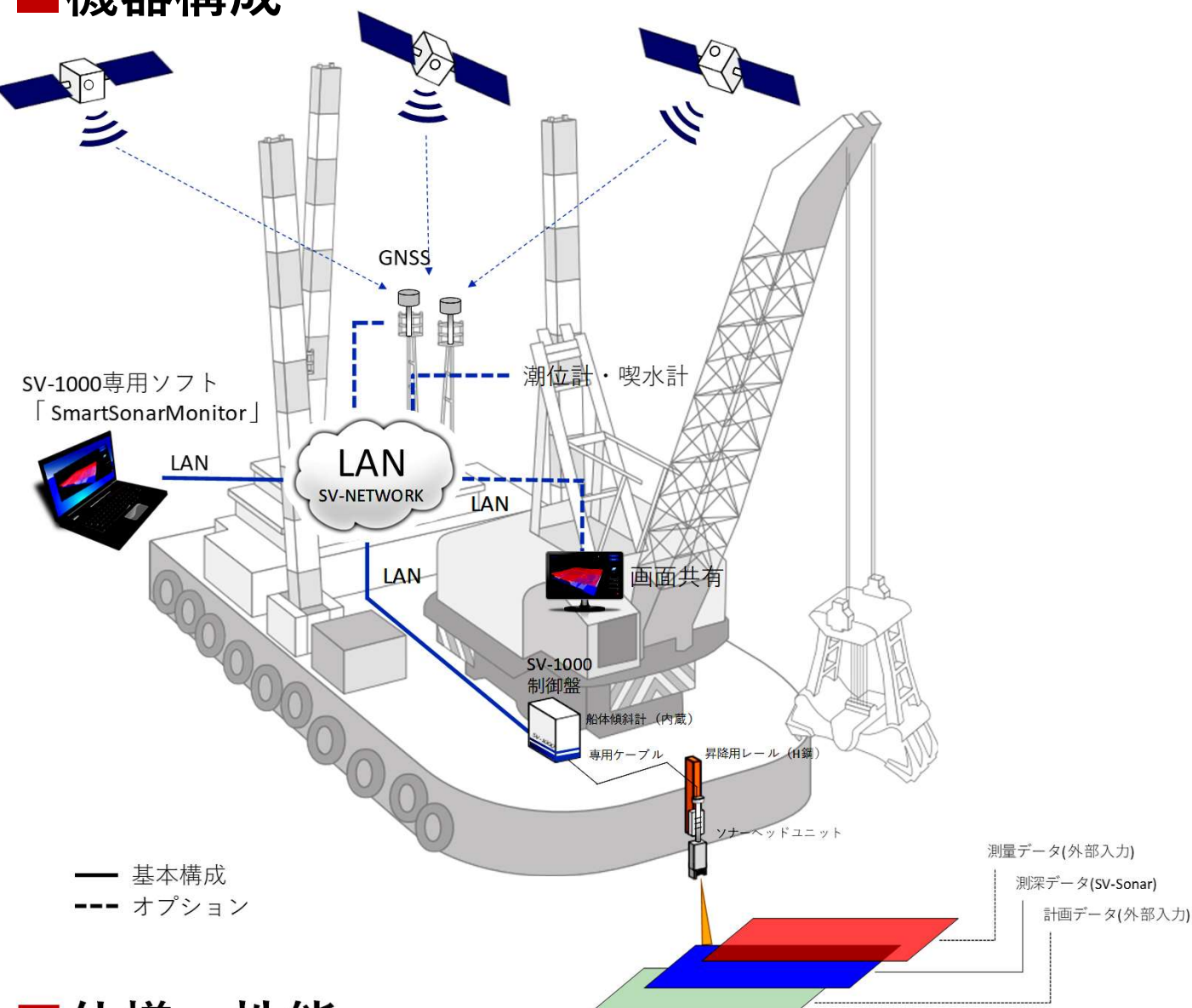


■ 機器構成



■ 仕様・性能

測深性能		測深条件	
測深可能深度	3m ～ 100m	傾き許容範囲	全方位±20° 以内
測深半径（センサーを中心）	半径 約 8m（深度 3m～5mの時）	濁り状態	ひどくないこと
	半径 約14m（深度 6m～9mの時）	水温	5℃～30℃
	半径 約20m（深度 10m～14mの時）	塩分濃度	0‰～3.5‰
	半径 約30m（深度 15m～20mの時）	その他	喫水値、方位等の位置ずれが多くないこと
	半径 約40m（深度 20m～50mの時）	測定時間	
精度	± 1cm ～ ±15cm	平均時間	0.2秒／1点あたり
機器仕様		ポイント測深モード	0.2秒／1点あたり
電源	AC100V	グラブ追尾モード	約4秒／20点あたり
超音波周波数	400KHz	領域測深モード	約60秒／300点あたり
PC	Windows10～		

※記載内容は予告なしに変更する場合があります。

パシフィックソフトウェア開発株式会社

PSD Pacific Software Development

〒780-0945 高知県高知市本宮町105-22

SV-Sonarに関するお問い合わせは、
営業本部までお願いいたします。

TEL：088-850-0503, FAX：088-850-0573 E-Mail sales@pacificsoftware.co.jp

海洋土木高度情報技術サービス

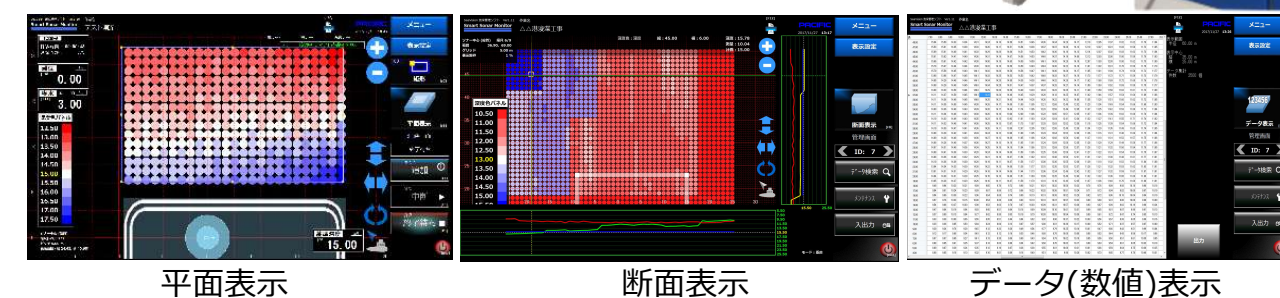
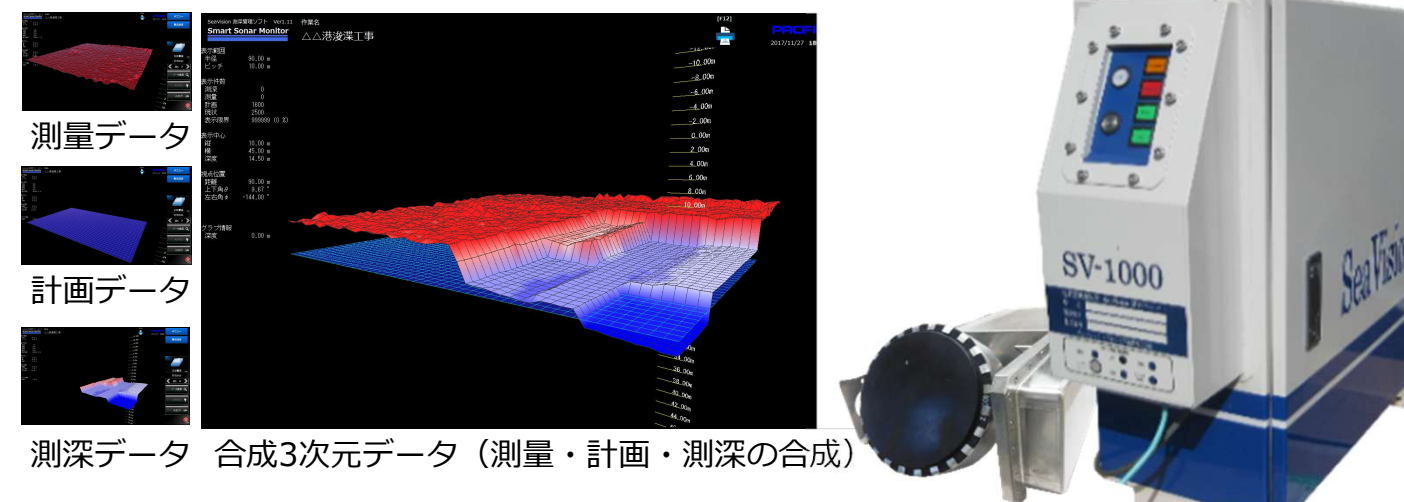
SeaVision

2025年4月

国土交通省NETIS登録：(旧)SKK-030002-VE (2003年度登録)

測深管理システム SV-Sonar

SV-1000 Ver 2.0 (i-Construction対応)



■ SV-1000 Ver 2.0 新機能

● 基本性能の向上

超音波出力の増大やマルチタスク処理によって、**対濁り性能の向上**とセンサー内傾斜計の大幅な性能アップにより測深速度の向上、測深可能深度が100mに拡張、**測深可能半径の拡大**といった全ての基本性能がパワーアップ！

● i-Constructionの施工において、多彩な表現で活躍

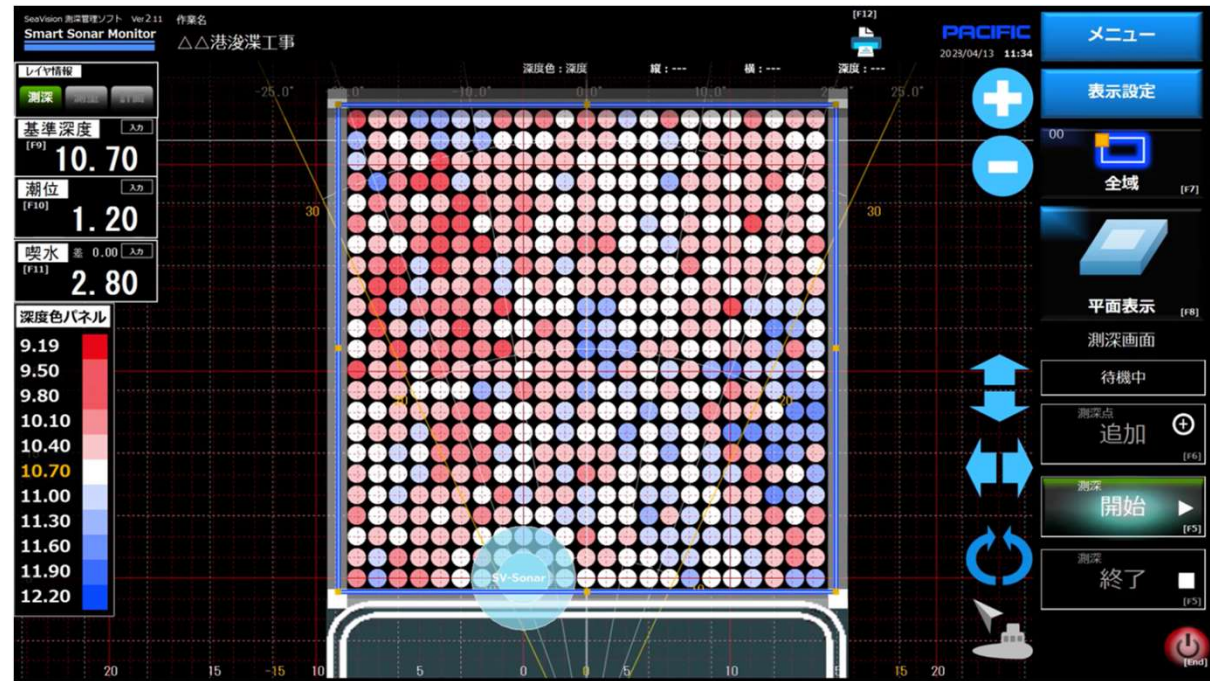
測深管理ソフトウェア（Smart Sonar Monitor）の改良により、起工測量データ（マルチビーム測量）、施工計画データとリアルタイムに測深したデータと各データを**合成して表示**したり、**仕上げ面（計画データ）との差分表示**など多様な表現が可能です。

● 活用工事の拡大

機材をコンパクトに改良し、設置が容易となったことに加えて、**船の動揺**を各種センサー値から**リアルタイムに補正**するため、小型船や特殊船などでも、簡単な操作で正確な深度を自動的に測ることができます。また、GNSS機器との接続により広域にわたる測深管理が行えます。これまでの浚渫現場での活用に加えて、基礎工や覆砂、地盤改良でもご活用いただける製品となりました。

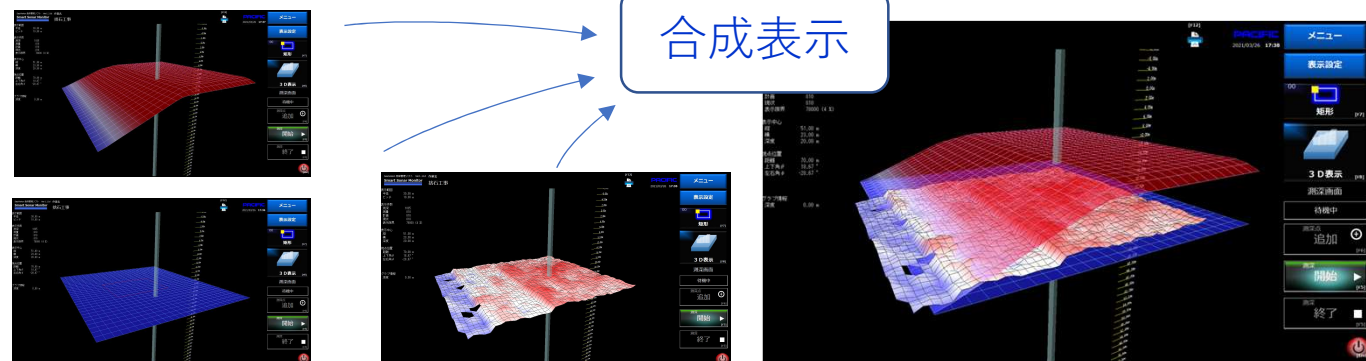
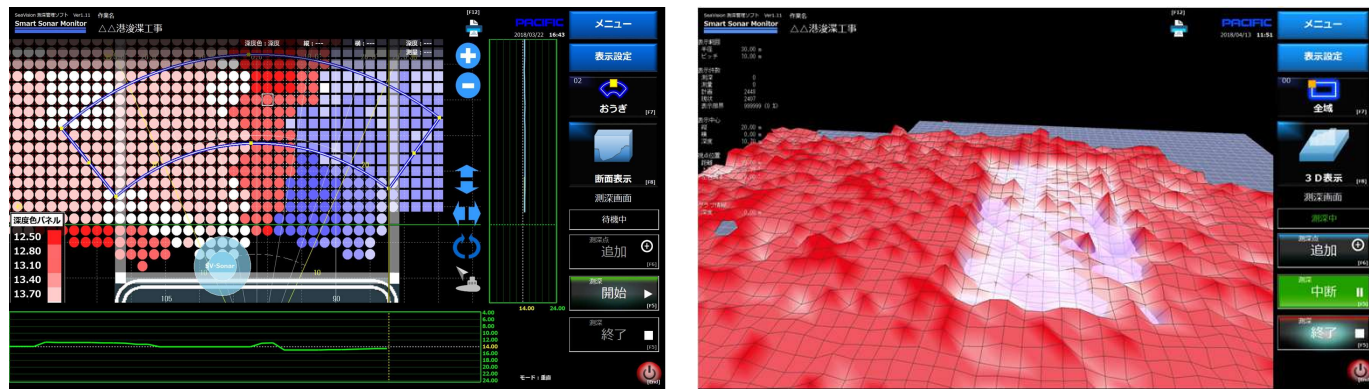
■ 測深管理ソフトウェア

Smart Sonar Monitor Ver 2.0

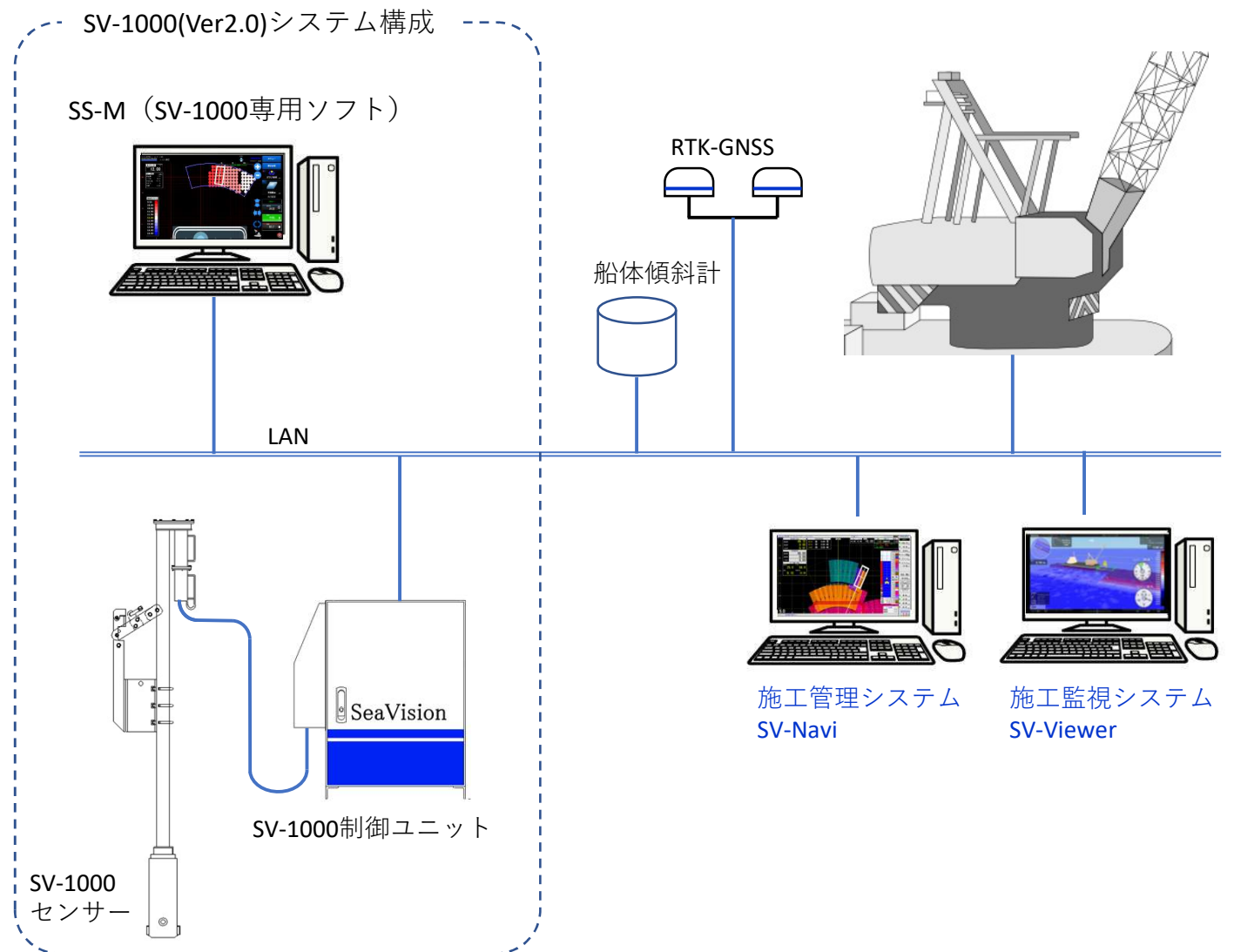


測深管理ソフトウェア Smart Sonar Monitor (SSM) はSV-1000専用のソフトウェアで、GNSSによる位置／方位データを取り込むことで従来システムと比較するとより広範囲の測深領域を管理できるようになりました。

- ◇ i-Connstruction施工に対応した機能が多数搭載
- ◇ 3次元表示機能強化
- ◇ 起工測量データ・施工計画データなどの点群データ取り込み・表示
- ◇ 自動測深モード搭載（浚渫中のクレーン動作にあわせて測深タイミングを可変）

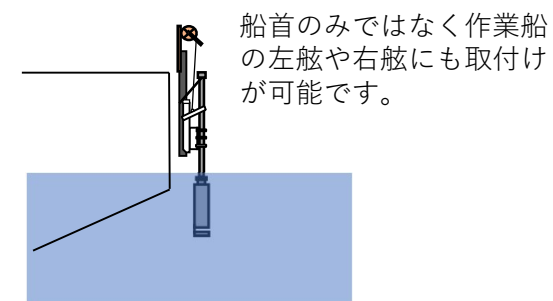


■ 標準的なグラブ浚渫船での構成

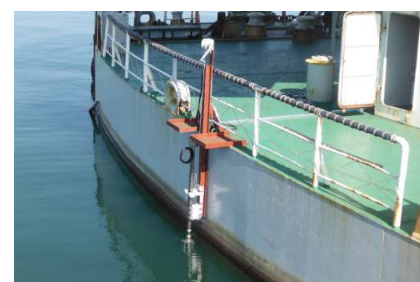


■ 基本設置方法（ソナーヘッドユニット部）

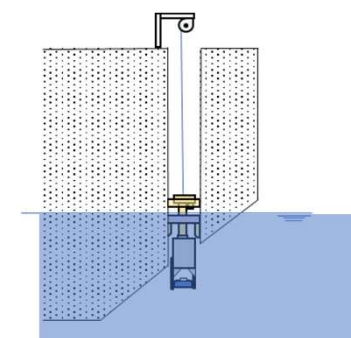
【簡易昇降器による設置】



船首のみではなく作業船の左舷や右舷にも取付けが可能です。



【船底昇降器による設置】



船首中央付近に500mm角パイプを設置しセンサーを投入します。

